



立西巻き

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 7. 7 (月)
No.26

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

きたれ門下生 たしざん道場やっています

授業を進めるにあたり、実態分析は重要です。2年生では繰り上がり、繰り下がり苦手意識を持つ子どもが多いということから、1年生の内容を再指導することにしました。しかし時間の捻出がむずかしい。そこで、給食準備時間を活用し、給食当番ではない児童を対象に「たしざん道場」で修業を積んでもらうことにしました。

まずは、「10のはすうのじゅつ」です。2年生忍者は

「1928374655ぱっぱ」と術を唱えます。「1と9で10」という10にするための補数がさくっとわかることが繰り上がり繰り下がりの計算につながります。道場は大盛況で、担当する野口先生と村上先生も、子ども達の伸びに手ごたえを感じています。

子ども達のワーキングメモリーには容量に差があります。ですから様々な多感覚情報を活用し、前頭葉を刺激しながら、学びの蓄積を促す必要があります。言語情報、視覚情報、動作情報など多岐に渡る方法で指導することが、子ども達の能力を引き出す手立てとなると信じ、あの手、この技、この術を道場の師範が伝授しています。

「よし！合格！！」「よっしゃ！！」と師範と小さな門下生忍者の笑顔があふれるこの道場。開いてよかったなと感じています。他学年の子どもにも、下学年の内容を学び直しするとよい子がいるかもしれません。先日、実際に、前の学年のドリルをさせたら、どんどん力がついたという子どもの話を立西小のお母さんからお聞きしました。その小さな努力が6年生になって、ようやく自信をもって学ぶ我が子の最近の姿に成果を感じているといったお話です。すばらしいなと思いました。大変なご苦労があったと想像します。一人ひとり伸びが違います。一番身近で、お子様の喜びや困りに寄り添えるのは、おうちの方です。お母さんが子どもに向き合う姿がお子さんの姿となっていることに間違いありません。学校もさらに、がんばらねばと思った次第です。

もうすぐ、夏休み。10日より個人懇談会もはじまります。お子様の今の姿をお伝えします。お話を踏まえ、ご家庭でも、再度、お子様の家庭生活や家庭学習の充実を夏休みのご計画としてご検討くださいますようお願いいたします。一緒にがんばりましょう。

教育基本法 第10条 (家庭教育)

父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

- 2 国及び地方公共団体は家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

お子様の就学相談も受け付けています。発達など成長に不安や気になることがある時は、必ず担任に相談してください。その後、担任は、学年主任、特別支援コーディネーター、教頭、校長に相談するしくみになっています。懇談に限らず、いつでも、お気軽なくご相談ください。早期に手立てを打ってあげることが大切です。



清掃ボランティアぴかぴか

明日8日(火)9時30分より
階段清掃を行います。お時間の都合つく方、お願いします。
職員室前停留所集合です。